



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東名

上場会社名 パナソニック デバイスSUNX株式会社
コード番号 6860 URL <http://panasonic.net/id/pidsx/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 富永 俊秀

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理担当 (氏名) 宮下 英二

TEL 0568-33-7211

四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 当社ホームページに掲載

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,676	1.6	981	△24.7	873	△36.7	591	△39.1
28年3月期第1四半期	11,492	7.0	1,303	13.1	1,380	18.7	972	23.2

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 15百万円 (△98.5%) 28年3月期第1四半期 1,070百万円 (46.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	10.52	—
28年3月期第1四半期	17.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	43,266	33,891	77.9	598.58
28年3月期	43,186	34,395	79.1	607.10

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 33,684百万円 28年3月期 34,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	0.1	3,800	△8.2	3,900	△7.2	2,700	△14.3	47.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	56,457,898 株	28年3月期	56,457,898 株
29年3月期1Q	184,256 株	28年3月期	184,216 株
29年3月期1Q	56,273,667 株	28年3月期1Q	56,273,739 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第 1 四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては雇用情勢が改善し個人消費が底堅く推移いたしました。中国をはじめとする新興国に減速感が見られ、英国のEU離脱決定の影響による下振れリスクを含んだまま推移いたしました。

わが国経済においては、雇用情勢が改善するなど、全体としては緩やかな回復基調の中で推移いたしました。急速な円高や株式市場の低迷により、企業収益の見通し悪化懸念が見られるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、国内においては、主要顧客先であるIT関連（半導体・液晶、自動組立機械、電機・電子）向け及び自動車関連向けの売上高が減少し、国内売上高は6,339百万円（前年同期比2.6%減）となりました。一方、海外においては、中国での売上高がスマートフォン製造設備関連向けの需要増加により伸長し、海外売上高は5,337百万円（同7.1%増）となりました。その結果、売上高は11,676百万円（同1.6%増）と四半期ベースで過去最高となりました。

利益面につきましては、円高や退職給付債務の影響により、営業利益は981百万円（同24.7%減）、経常利益は873百万円（同36.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は591百万円（同39.1%減）となりました。

セグメント別の状況

・センシングコントロール事業（FA用センサ、PLC、プログラマブル表示器等）

国内においては、主要顧客先であるIT関連向けの売上高が減少いたしました。一方、海外においては、スマートフォン製造設備関連向けを中心として中国向けの売上高が増加いたしました。その結果、センシングコントロール事業の売上高は7,461百万円（同2.6%増）となりました。なお、減価償却費の増加などにより、セグメント利益は1,457百万円（同5.4%減）となりました。

・プロセッシング機器事業（レーザーマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置等）

主要顧客先である自動車関連向けの売上高が、国内においては減少した一方で、海外においては欧州向けを中心に増加いたしました。その結果、プロセッシング機器事業の売上高は2,374百万円（同0.7%減）となりました。なお、研究開発費の増加などにより、セグメント損失は15百万円（前年同期はセグメント利益173百万円）となりました。

・E c o・カスタム事業（エコ関連商品、カスタム部品、カスタム商品等）

カスタム部品／商品の大口件名が寄与し、売上高が増加いたしました。その結果、E c o・カスタム事業の売上高は1,840百万円（同0.8%増）、セグメント利益は45百万円（同93.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は43,266百万円となり前連結会計年度末に比べ80百万円の増加となりました。この主な要因は下記のとおりであります。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ441百万円増加し、31,780百万円となりました。主な内容はたな卸資産が235百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ361百万円減少し、11,486百万円となりました。主な内容は有形固定資産が344百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ684百万円増加し、7,506百万円となりました。主な内容は仕入債務が620百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ100百万円減少し、1,868百万円となりました。主な内容は退職給付に係る負債が100百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ504百万円減少し、33,891百万円となりました。主な内容は為替換算調整勘定が666百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより13,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ350百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益872百万円、仕入債務の増加による資金の増加706百万円を計上する一方、たな卸資産の増加による資金の減少391百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは1,638百万円となり前年同四半期に比べ122百万円収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出196百万円、無形固定資産の取得による支出125百万円等により320百万円の支出となり前年同四半期に比べ788百万円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額515百万円等により516百万円の支出となり、前年同四半期に比べ57百万円支出が減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,923	7,038
受取手形及び売掛金	4,612	4,558
商品及び製品	2,498	2,392
仕掛品	591	574
原材料及び貯蔵品	2,607	2,965
預け金	12,412	12,648
その他	1,694	1,602
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	31,339	31,780
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,641	2,641
その他(純額)	7,378	7,034
有形固定資産合計	10,020	9,676
無形固定資産	939	957
投資その他の資産	887	853
固定資産合計	11,847	11,486
資産合計	43,186	43,266
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,088	3,693
電子記録債務	538	553
未払金	905	859
未払費用	621	1,157
未払法人税等	721	322
賞与引当金	872	798
その他	73	122
流動負債合計	6,822	7,506
固定負債		
退職給付に係る負債	1,968	1,868
固定負債合計	1,968	1,868
負債合計	8,791	9,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	20,452	20,537
自己株式	△64	△64
株主資本合計	34,077	34,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	36
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	783	117
退職給付に係る調整累計額	△728	△629
その他の包括利益累計額合計	86	△478
非支配株主持分	232	206
純資産合計	34,395	33,891
負債純資産合計	43,186	43,266

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	11,492	11,676
売上原価	7,963	8,517
売上総利益	3,528	3,159
販売費及び一般管理費	2,225	2,177
営業利益	1,303	981
営業外収益		
受取利息	29	21
受取配当金	2	1
受取地代家賃	8	0
為替差益	34	-
その他	4	0
営業外収益合計	79	24
営業外費用		
為替差損	-	131
不動産賃貸費用	1	-
その他	0	0
営業外費用合計	1	132
経常利益	1,380	873
特別利益		
投資有価証券売却益	64	-
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	64	0
特別損失		
固定資産除却損	9	0
固定資産売却損	-	1
特別損失合計	9	2
税金等調整前四半期純利益	1,435	872
法人税、住民税及び事業税	339	332
法人税等調整額	115	△63
法人税等合計	454	269
四半期純利益	980	602
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	972	591
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	11
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	4
繰延ヘッジ損益	-	△2
為替換算調整勘定	137	△688
退職給付に係る調整額	△17	99
その他の包括利益合計	89	△587
四半期包括利益	1,070	15
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,052	27
非支配株主に係る四半期包括利益	17	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,435	872
減価償却費	366	411
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△112	44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△238	△68
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	-
受取利息及び受取配当金	△31	△23
為替差損益 (△は益)	△49	61
有形固定資産除売却損益 (△は益)	9	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△64	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△176	△53
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△618	△391
仕入債務の増減額 (△は減少)	821	706
未払金の増減額 (△は減少)	△43	22
未払費用の増減額 (△は減少)	759	544
その他	74	208
小計	2,131	2,336
利息及び配当金の受取額	31	23
法人税等の支払額	△646	△721
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,516	1,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,091	△196
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△97	△125
投資有価証券の売却による収入	79	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,108	△320
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△555	△502
非支配株主への配当金の支払額	△17	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△573	△516
現金及び現金同等物に係る換算差額	127	△450
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△37	350
現金及び現金同等物の期首残高	11,474	13,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,436	13,687

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	7,274	2,391	1,826	11,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,274	2,391	1,826	11,492
セグメント利益	1,540	173	23	1,737

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,737
全社費用(注1)	△421
調整額(注2)	△12
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,303

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	7,461	2,374	1,840	11,676
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,461	2,374	1,840	11,676
セグメント利益又は損失 (△)	1,457	△15	45	1,487

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,487
全社費用(注1)	△528
調整額(注2)	23
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	981

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。